

経営比較分析表（平成28年度決算）

奈良県地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	透I訓	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	20,558	非該当	7：1	

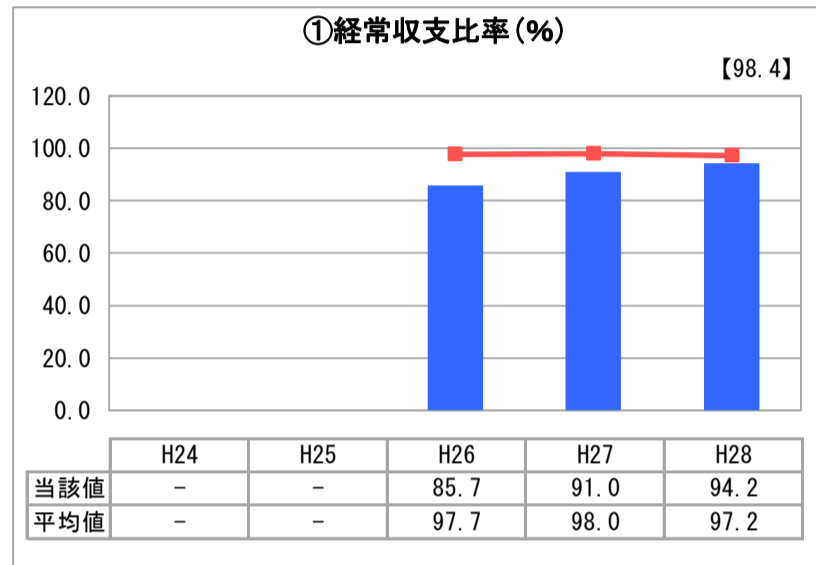
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

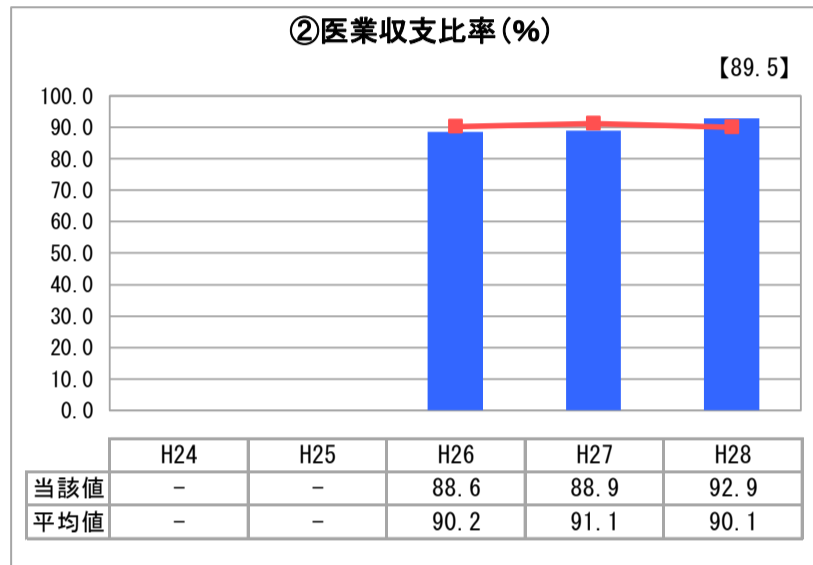
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成28年度全国平均

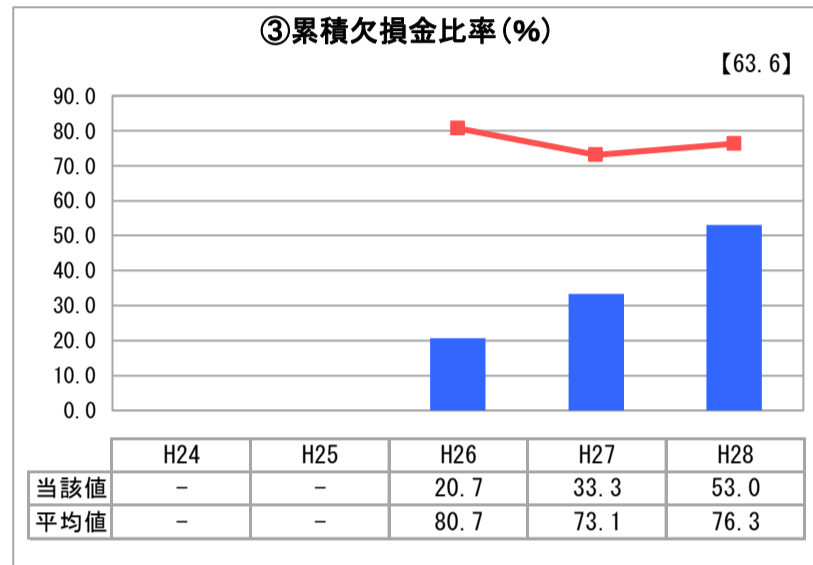
1. 経営の健全性・効率性



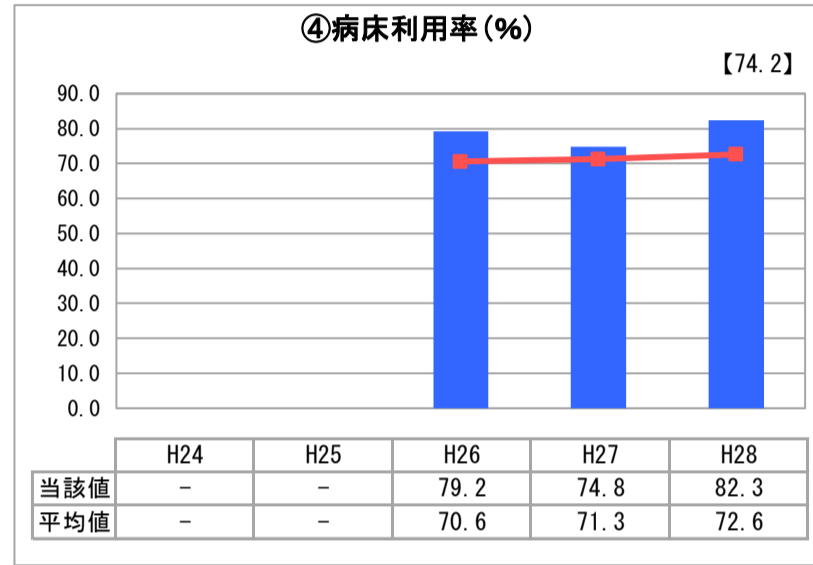
「経常損益」



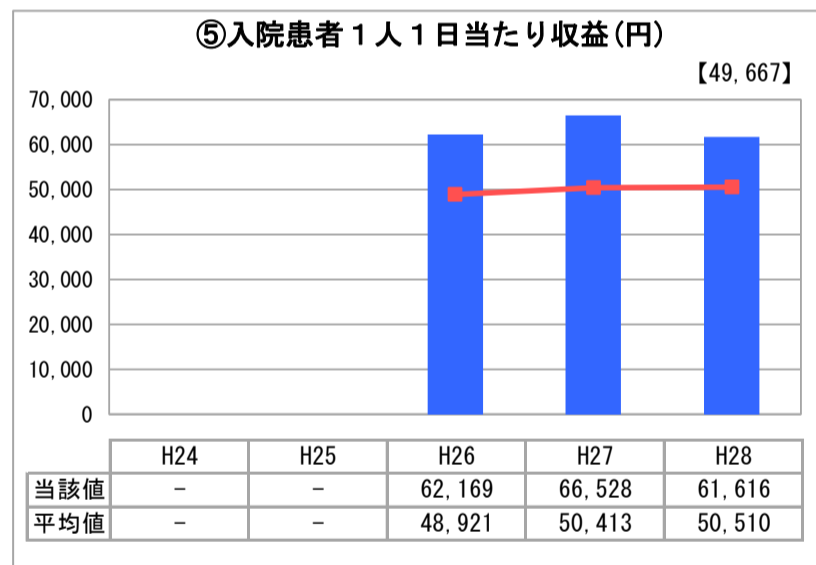
「医業損益」



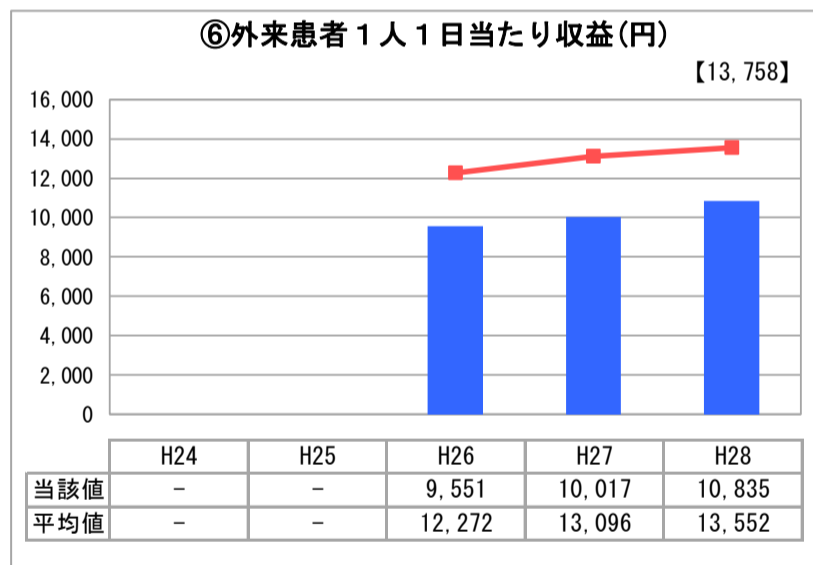
「累積欠損」



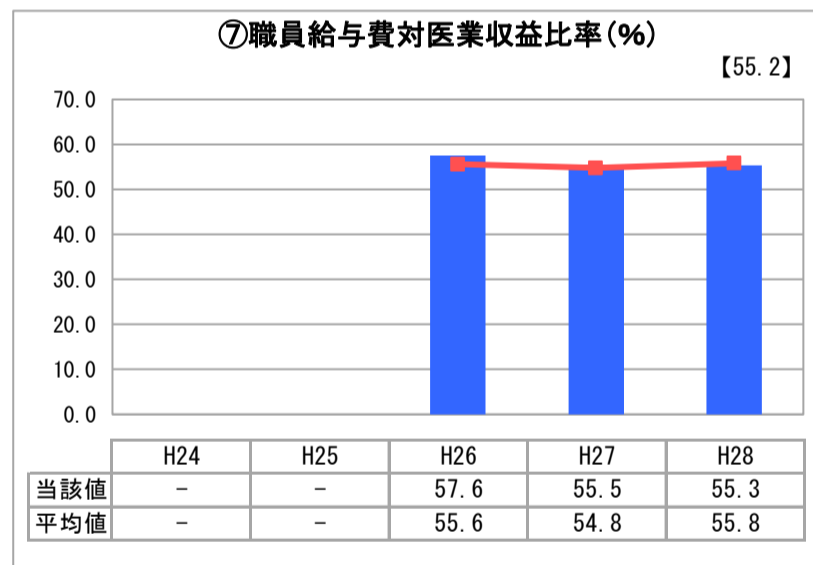
「施設の効率性」



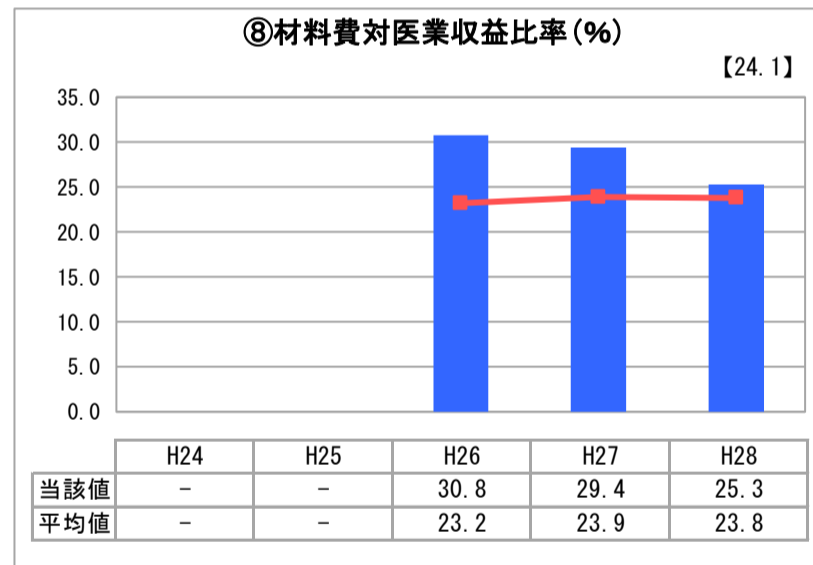
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

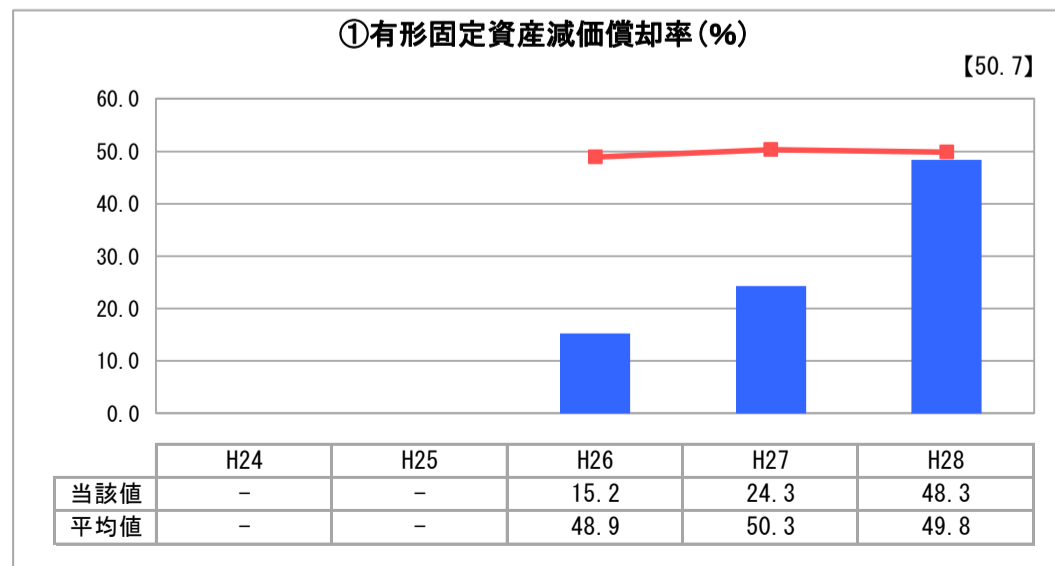


「費用の効率性①」

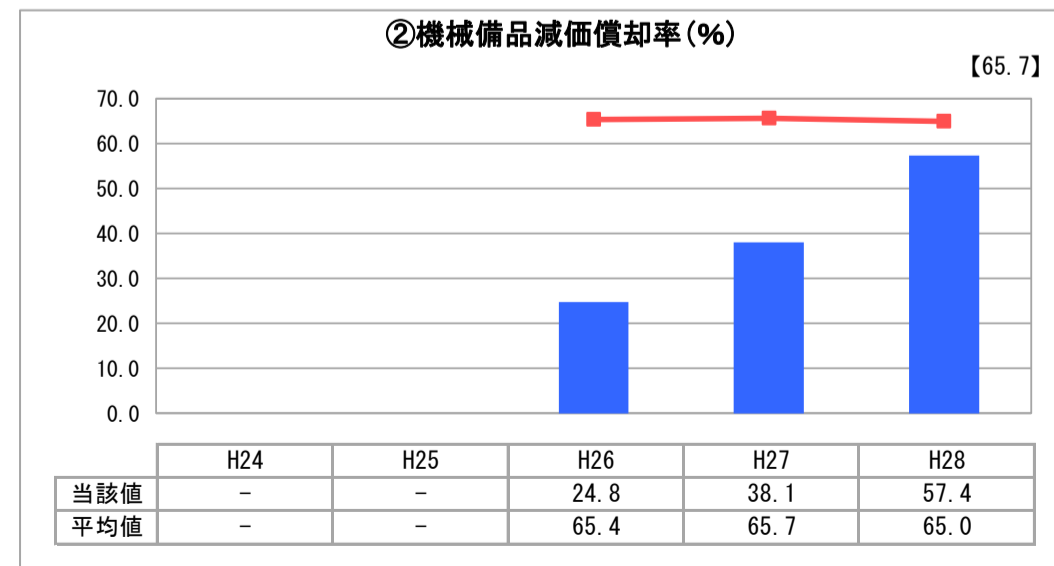


「費用の効率性②」

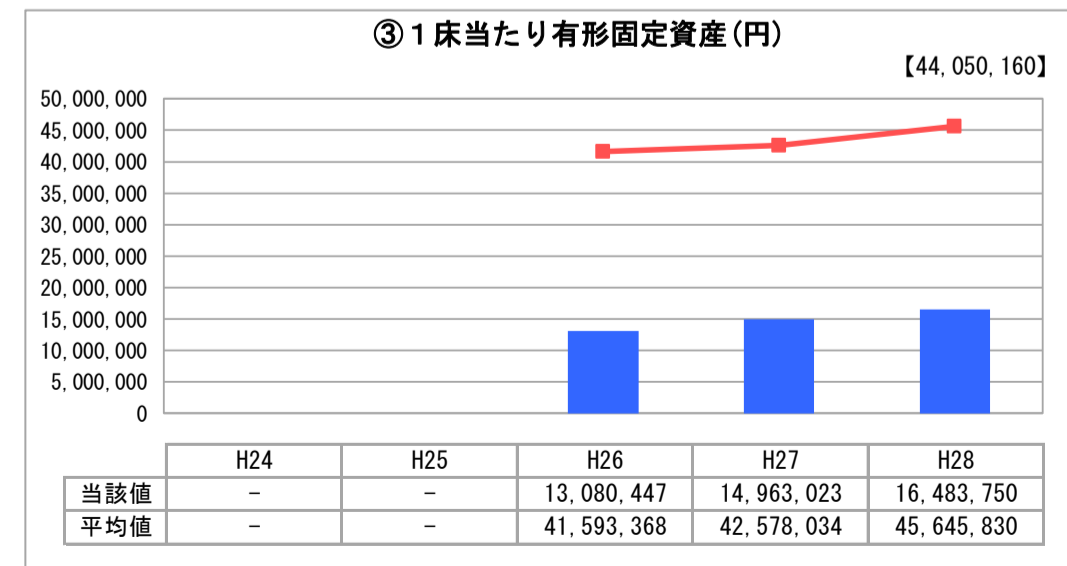
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

奈良県西和地域、特に西和地域南部において急性期医療（二次救急）を提供する基幹病院として、地域住民に必要な医療を提供している。西和地域では、高度急性期・急性期の患者のうち脳疾患、心疾患等の循環器疾患の患者のほとんどは受け入れているが、がんを対象とする消化器外科、整形外科などは他の医療圏に流出している状況にある。今後も引き続き、脳血管・心疾患等の循環器疾患を中心とした急性期医療を提供していくとともに、西和地域の二次救急の砦として、様々な患者に常時対応していく。また、西和地域は高齢者人口の増加が見込まれることから、複合的な疾患にも対応できるよう必要性の高まる診療科については維持継続するとともに、肺炎などの呼吸器疾患、糖尿病疾患の医師確保を進め、地域住民に必要な医療を提供していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院については、病床利用率の更なる向上を図るため、救急医療、地域の医療機関との連携を強化し、ベッドコントロールの徹底を図る。また、後発医薬品への切替促進、価格交渉の強化により、薬品費及び診療材料費の削減を図る。

なお、循環器疾患をはじめとする超急性期、急性期の救急医療を今後も継続、人口構造の変化や今後の受療動向等によっては、一部の病床を地域包括ケア病床へ転換するなど医療機能の見直しを検討する。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び機械備品減価償却率は、類似病院平均値より低い水準にあるが、年々増加傾向にあるため、今後は、施設・備品の老朽化度合と必要性を考慮のうえ、計画的な更新が必要である。

全体総括

急性期医療のうち二次救急の応需、がん患者の化学療法など、より身近な地域で提供すべき医療を中心に提供体制を確保する。複数疾患を抱える患者に対応できるよう総合的な診療体制を確保することを基本とするが、質の高い医療を効率的な体制で提供できるよう、総合医療センターとの間で診療科に応じた連携支援体制を構築する。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。